

【調査1】 町民アンケート調査

【調査の概要】

- ①調査対象: 大槌町に住民登録がある15歳以上89歳以下の町民(無作為抽出で1,200人を抽出)※回収率30%
- ②調査方法: 郵送配布～郵送回収
- ③調査期間: 配布: 令和3年7月30日(金) ～ 回収: 令和3年8月11日(水)※13日間

駅やバス停までの徒歩時間

- ・ 最寄りの駅やバス停までの移動時間について、駅までの徒歩時間は「20分以上」が47%に対し、バス停までの徒歩時間は76%が10分以内となった。
- ・ 地区別のバス停は吉里吉里・浪板地区と安渡地区、沢山・大ケ口地区で「10分以上かかる」割合が3～4割を占めて多くアクセス性が低い。(図1参照)

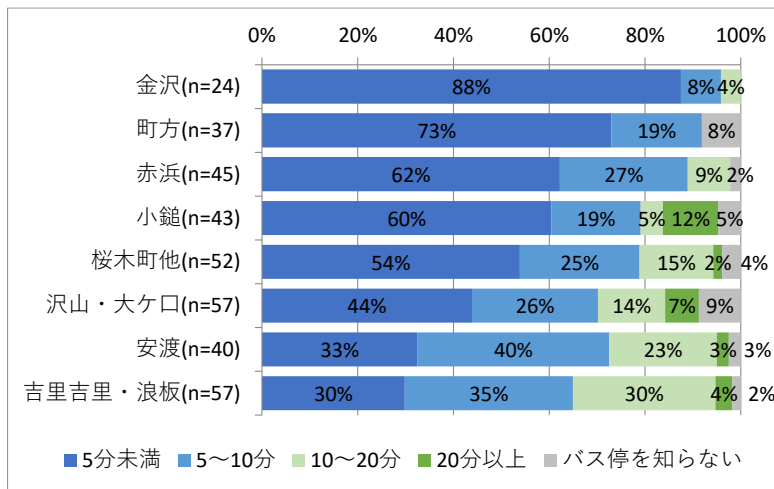


図1 自宅からバス停までの徒歩時間

外出の不便さ

- ・ 「外出やお出かけに不便を感じるか」については、現在は「あまり不便と感じない(28%)」「全く不便と感じない(24%)」と過半数が不便を感じていない結果となったが、10年後を考えると「とても不便(36%)」「少し不便(27%)」で63%が不便を感じると回答している。
- ・ 年代別にみると、現在は10代と80歳以上で不便を感じる割合が高い。10年後を想像すると、50代以上で特に不便を感じる割合が高くなっている。

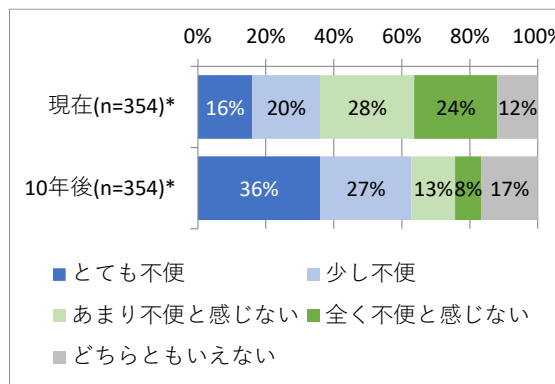


図2 外出を不便と感じるか

期待する改善

- ・ 公共交通に期待する改善点は、「町民バスと県交通バスの接続をよくする」が最も多い。
- ・ 次に「駅やバス停が遠い交通不便地域を解消する」が多くあげられた。

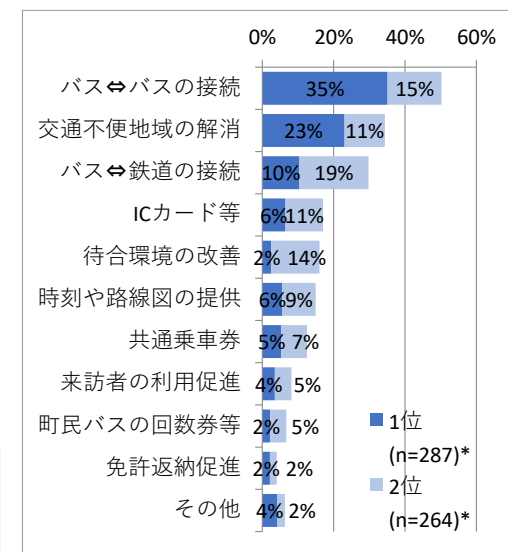


図3 期待する改善の第1位と第2位

【調査2】 バスの利用者意向調査

【調査の概要】

- ①調査対象: 町民バス及び県交通バスの乗客
- ②調査方法: 町民バス及び県交通バスの全便(平日1日、休日1日)に乗車し、アンケートやヒアリング調査(町民バス110人、県交通バス420人)
- ③調査日時: 令和3年6月1日(火)、令和3年6月6日(日)、令和3年6月9日(水)、令和3年6月14日(月)

町民バス

- 利用者の外出目的
 - ・「買い物」が過半数を占めて多い。
- 満足度
 - ・「満足(24%)」と「やや満足(41%)」合わせて6割以上が満足している。
 - ・特に、金沢小鎚線の満足度が高い。
- (満足している人の理由)
 - ・無料で乗れるのでありがたい(通学、三枚堂、循環)

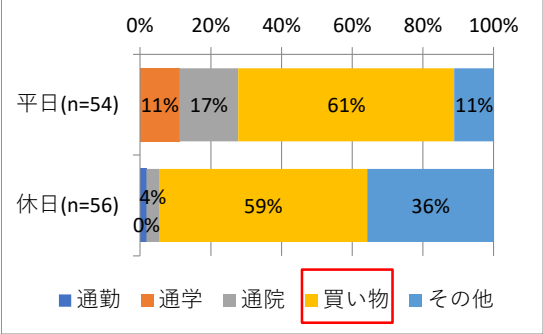


図 町民バス利用の外出目的割合

- (満足していない人の理由)
 - ・循環バスが駅どまりになって不便。土日便も減って困っている。(その他、県営屋敷、循環)
 - ・県交通バスとの乗り継ぎを良くしてほしい。(その他、大ヶ口、循環)

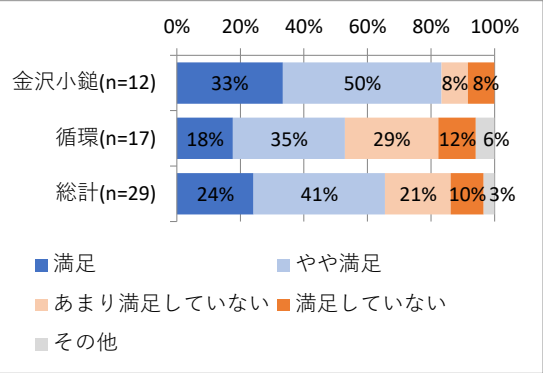


図 町民バスの満足度



町民バス車両

- ・駅を基点にしないで前のようにぐるぐる回ってほしい。金沢便の本数が少ない(9時台10時台)(買い物、小野田、循環)
- ・午前中にもう1本ほしい。(その他、安瀬の沢、金沢小鎚)
- ・もっとゆっくり滞在できたらいい(買い物、三枚堂、循環)

岩手県交通バス

- 利用者の外出目的
 - ・「通学」と「買い物」が比較的多く、それぞれ約3割を占める。
 - ・「通勤(17%)」、「通院(13%)」で、さまざまな目的で利用されている。
- 改善希望
 - ・「県交通のバスの時刻を変えてほしい」が最も多い。
 - ・具体的には、「土日通勤しているので時間は一緒がいい」や「便数を増やしてほしい(1~2時間に1本)」という意見が寄せられた。

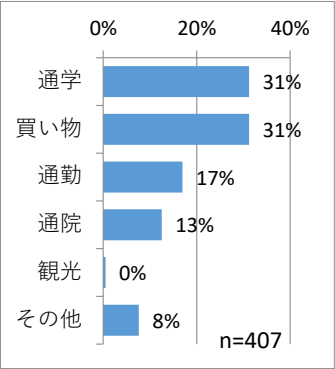


図 バス利用の外出目的割合

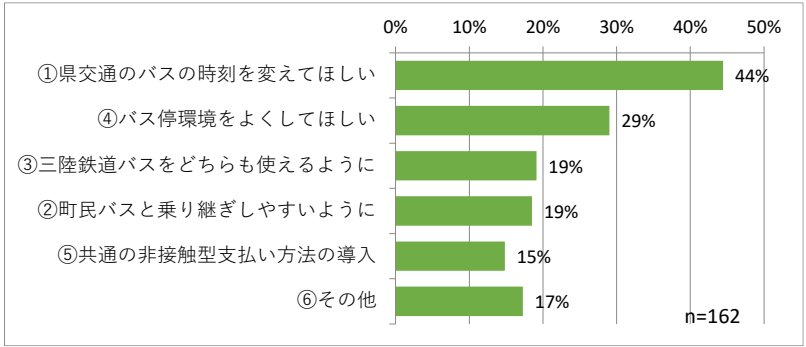


図 改善希望

- (改善希望のその他)
 - ・人が多い時はバスを大きくしてほしい。(通学)
 - ・マストで乗り継ぎに1時間待つ。待っている間で買い物するには短いので乗り継ぎをよくしてほしい。(買い物、釜石中央バス停)
 - ・自宅からバス停まで15分かかるので家の近くにバス停がほしい。(買い物、大槌橋)
 - ・バスカードが使用できない時があり困っている。(通勤)

【調査3】 住民ヒアリング

【調査の概要】

- ①調査対象：町内9地区（交通不便地域が存在する地区、町民バスが運行していない地区等）
- ②調査方法...自治会長や民生委員をはじめ、運転免許を持たない方や高齢者の方々を対象にヒアリング調査
- ③調査期間...令和3年8月26日（木）～令和3年9月28日（火）



小鎚地区（協力者数：7名）

- ①移動の現状
 - ・ 病院は町民バスで大槌病院に行っている。移動販売車が週2回来るので利用している。（86歳、女性）
- ②困っていること
 - ・ 農協に行けないのが困る。だあすこにバス停があると助かる。以前の町民バスの時間や経路がちょうどよかった。

安渡地区（協力者数：9名）

- ①移動の現状
 - ・ 県交通のバス停まで歩いて10分程度。帰りはバス停から上りになるので荷物をもって歩けないためタクシーで帰ってくる。（81歳、女性）
- ②困っていること
 - ・ 歯医者は大ケロ側にあるのでバスで行けない。
 - ・ 集落の道は狭く、バスは難しいと思うが、バス停まで歩けない人も多く困っている。

吉里吉里地区（協力者数：10名）

- ①移動の現状
 - ・ 以前は臨時バスを利用していた。植田医院に通院しているが、マストまでバスで行き、そこからタクシーで病院まで行く。（78歳、女性）
- ②困っていること
 - ・ 県交通のバスに乗るためには道路を横断する必要があるが渡れない。
 - ・ 毎日でなくもいいので、以前の町民バスの路線にバスを走らせてほしい。

沢山地区（協力者数：9名）

- ①移動の現状
 - ・ 釜石の病院に行くときはマストまでタクシーで行き、そこから県交通バスで行く。（86歳、男性）
- ②困っていること
 - ・ デマンドタクシーはよく分からないし、気を遣う。耳が遠い人も多い。買い物バスの方が利用しやすい。

小枕地区（協力者数：1名 ※自治会長）

- ①移動の現状
 - ・ ほとんどの世帯が自家用車で移動している。
- ②困っていること
 - ・ 今後免許返納者が多くなるかもしれないので、乗合タクシー等の対象地区としてほしい。

金沢地区（協力者数：15名）

- ①移動の現状
 - ・ 病院に行って、マストに寄って帰ってくると時間が足りない時がある。
- ②困っていること
 - ・ 釜石に行こうとするとバスの時間は間に合わない。
 - ・ 農協に行きにくい。

赤浜地区（協力者数：11名）

- ①移動の現状
 - ・ 植田医院に通院しているが、10:16のバスで行く。天気が良ければ、マストまで歩き、マストからはバスかタクシーで帰ってくる。（83歳）
- ②困っていること
 - ・ 盛岡行きのバスと路線バスが数分の差で接続が良くないので、直してもらえると助かる。
 - ・ バスがもっとこまめに停まってもらえると助かる。フリー区間がいい。

浪板地区（協力者数：1名 ※分館長）

- ①移動の現状
 - ・ 浪板地区の人は、三陸鉄道を利用し山田町に買い物に行く方が多くいる。山田町は駅前にスーパーがあるので便利だから。
 - ・ マストは駅から離れているため、あまり行かない。
- ②困っていること
 - ・ 浪板地区内を巡り、マストや病院など主要施設まで行ける乗合タクシーがあればよい。

柁内地区（協力者数：7名）

- ①移動の現状
 - ・ 震災後に人口が増えた。ひとり暮らしの高齢者も増えた。今後はもっと増えると思う。
- ②困っていること
 - ・ 釜石に行くときの接続も良くない。
 - ・ 循環バスを柁内まで回してほしい。そうすると道又医院にも行ける。



調査結果まとめ

- ◆ 小鎚地区や金沢地区は、町民バスの昼間の便がなくなったため、不便を感じている。
- ◆ 吉里吉里・浪板方面や安渡・赤浜方面については、昨年12月から町民バスが運行しなくなったため、タクシーなどを利用してなんとか外出している状況。
- ◆ 公共交通に関して期待する改善点は、「町民バスと県交通バスの接続をよくする」が最も多く挙げられ、乗り継ぎ利便性の向上のため、わかりやすい公共交通時刻表の作成が必要である。
- ◆ 高齢者の生活状況では、坂道移動の負担の声が多く挙げられ、外出を控えている状況。
- ◆ いわゆる交通不便地域の解消に加え、外出機会を増やし、公共交通利用者の増加に繋がる「新たな施策」の検討・検証が必要である。